競 技 注 意 事 項

１　競技規則について

本大会は、2023 年公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会の申し合わせ事項によって行う。

２　競技場の使用について

（１）ウォーミングアップ場は、パロマ瑞穂北陸上競技場の競技に支障の無い場所・レクリエーション広場とする。ただし、棒高跳・砲丸投の練習については、競技開始前に各ピットで競技役員の指示によって行う。また、各練習場の練習については以下を原則とするが、状況などにより変更する場合もある。競技役員の指示に従うこと。
※投てき物を使った練習は禁止する。

（２）競技開始前のウォーミングアップは、ホームストレートや競技が行われる場所についての練習は、**競技開始時刻の１０分前から使用を禁止する。**

（３）パロマ瑞穂北陸上競技場は全天候舗装なのでスパイクの長さは９㎜以内とする。
ただし、走高跳は１２㎜以内とする。スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は４㎜四方の寸法に適合するように作られていなければならない。なお、スパイクの数は 11 本以内とする。
（競技規則 TR5.2 参照）

（４）更衣は、更衣室を利用する。更衣のみに利用し、荷物は置かないこと。
また、貴重品は各自で管理すること。

（５）救護本部はパロマ瑞穂北陸上競技場内１階医務室に設置する。

３　競技者の招集について

（１）招集完了時刻は競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	３０分前	２０分前
フィールド競技	４０分前	３０分前
棒高跳	７０分前	６０分前
混成競技	最初の種目：上記該当種目と同様 ２種目目以降：トラック　　１５分前現地 フィールド　２０分前現地 ※２日目については、１種目目は招集所で行う。	

（２）　招集の手順

①招集所は、全種目第三コーナー付近の北側倉庫一か所に設ける。

②競技者は招集完了時刻までに招集所に集合し、点呼を受けること。その際、競技役員にアスリートビブスの確認を受ける。**また、携帯電話や通信機器および音楽再生機器等は持ち込めない。**

③他の種目に出場しているなど特別な事由がある場合は、**本人による２種目同時招集（先に招集を行う種目の招集時に、もう１種目の招集を行う）を認めるので、競技者係に申し出ること。**

④招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。

⑤四種競技者は、最初の種目のみ招集所で（３）に従い競技者係の点呼を受ける。２番目の種目からは、現地で混成競技係の点呼を受けること。なお、フィールド種目は、競技開始時刻の２０分前まで、トラック競技は、競技開始時刻の１５分前までに現地に集合すること。

（３）２種目を同時に出場する競技者は、当該競技審判主任の判断により、フィールド競技について試技順を変更することができる。試技順を変更しても試技時間に間に合わなかった場合は、無効試技とみなす。

４　競技運営について

（１）競技運営上、競技日程及びピットを変更することがある。

（２）予選におけるトラック競技のレーン、フィールド競技の試技順は、主催者が公平に抽選し、プログラム記載の左側の番号で表す。トラック競技及びフィールド競技の決勝については、主催者が公平に抽選し、その結果を番組編成掲示板に掲示する。

（３）レーンで行う競技種目で棄権があった場合は、そのレーンはあける。
（４）計時方法は写真判定(1/100 秒）とする。
（５）タイムによる決勝進出者の決定について、同記録（1000 分の 1）があり、レーン数が不足するときは、抽選（競技規則 TR21）を行う。抽選は、番組編成員が該当者をアナウンスにより招集して行う。該当者は、アナウンスより 10 分以内に本部へ集合する。進出決定者の発表は、アナウンス・大型映像および正面入口の掲示板で行う。
（６）５組１着＋１１で行う予選種目は、＋１１のうち上位３名をＡ決勝とする。４位から８位をＢ決勝とする。＋１１に入った選手のタイムが、各組の１着の記録を上回っても、入れ替えは行わない。ただし、同記録の場合、写真判定で着差があれば着順を決定する。着差がない場合は該当者の抽選により進出者を決定する。
また、異なる組の中で２着と３着が同タイムの場合は、２着の競技者（チーム）を優先する。
（７）本競技会は、不正スタート１回失格を適用する競技会として実施する。（競技規則 TR16.6.7）
ただし、男女四種競技においては、各レースでの不正スタートは１回のみとし、その後に不正スタートした競技者は、すべて失格とする。（競技規則 TR39.8.3 を適用）
（８）スタートの合図は英語とする。（「On　Your　Marks」「Set」）
（９）リレーのオーダー用紙は、各ラウンドの招集完了時刻１時間前までに競技者係に提出すること。メンバー変更については、競技規則 TR24.11 を適用する。なお、用紙は招集所で用意する。
（10）リレーのすべてのラウンドにおいて、リレー申し込みの有無にかかわらず、低学年・共通リレーのどちらかにしか申し込み及び出場することはできない。競技規則 TR24.10 に該当するメンバー外の選手が出場する場合も同様とする。
　なお、それぞれのリレーに申し込みのあった６名以内の競技者は、申し込みをしたリレーにしか出場できない。
（11）リレー競技においては、同一ユニフォームを着用すると定められているが、ユニフォームのタイプを選手が選択することができる。デザインや配色が同一であれば問題ない。（競技規則 TR5.1）
（12）リレー競技のマーカーの使用は１ヶ所とする。また、マーカーは主催者側が用意し、審判員が配付する。また、各チームが用意したマーカーを使用してもよい。（競技規則 TR24.4 を適用）
ただし、使用したマーカーはそのチームで処理すること。
（13）短距離では、事故防止のためフィニッシュライン到着後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
（14）男子 3000m はグループスタートとする。
（15）走高跳、走幅跳の予選については、２ピットで行う（日程参照）。ただし、競技場の条件、出場人数によっては、１ピットで行う場合もある。
（16）競技場での競技前の跳躍・投てき練習は競技役員の指示によって行うこと。
（17）競技者に対する助力については、競技規則 TR6.3 の項を適用する。

５　競技場の入退場について
（１）係員の指示があった場合は、その指示に従って行動すること。
（２）選手誘導は予選・決勝共に行わない。
（３）入退場は、南北出入り口とする。競技役員の指示に従うこと。

６　アスリートビブスについて
（１）アスリートビブスは配付されたままの大きさでユニフォームの胸・背部に確実につける。
なお、跳躍種目（四種競技の走高跳含む）の競技者は、背部または胸部のみでもよい。
（２）トラック競技（８００m以上）に出場する競技者は、招集時に腰ナンバーカード（ビブス）標識を貸与する。ランニングパンツ左右の上部やや後方につけること。（招集時に受け取り、終了後は直ちに係に返却する。）

７　予選通過標準記録について
フィールド競技の予選通過標準記録は次のとおりとする。

	走高跳	棒高跳	走幅跳	砲丸投
男子	１ｍ８５	４ｍ００	６ｍ５５	１３ｍ００
女子	１ｍ６０		５ｍ４５	１２ｍ５０

上記の種目で予選通過標準記録を超えた者が１２名に満たなかった場合、決勝進出者は予選成績により追加補充される。同記録の競技者は、競技規則 TR25.22/TR26.8/TR26.9 を適用する。なお、予選通過標準記録は、天候その他特別な状況が生じた場合に限り、当該審判長の判断により変更されることがある。

８　走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

（１）　予選

	練習	１	２	３	４	５	６
男子走高跳	1m55/1m75	１ｍ６０	１ｍ６５	１ｍ７０	１ｍ７５	１ｍ８０	１ｍ８５
女子走高跳	1m35/1m50	１ｍ３５	１ｍ４０	１ｍ４５	１ｍ５０	１ｍ５５	１ｍ６０
男子棒高跳	フリー	３ｍ００	３ｍ２０	３ｍ４０	３ｍ６０	３ｍ８０	４ｍ００

①　練習の高さを２段階に設定し、希望により実施できるものとする。

（２）　決勝

	練習	１	２	３	４	５	６	
男子走高跳	1m65/1m79	１ｍ７０	１ｍ７３	１ｍ７６	１ｍ７９	１ｍ８２	１ｍ８５	以降３㎝
女子走高跳	1m40/1m54	１ｍ４５	１ｍ４８	１ｍ５１	１ｍ５４	１ｍ５７	１ｍ６０	以降３㎝
男子棒高跳	フリー	３ｍ２０	３ｍ４０	３ｍ６０	３ｍ８０	３ｍ９０	４ｍ００	以降10㎝
男子四種走高跳	1m35/1m55	１ｍ４０	１ｍ４５	１ｍ５０	１ｍ５５	１ｍ５８	１ｍ６１	以降３㎝
女子四種走高跳	1m20/1m40	１ｍ２０	１ｍ２５	１ｍ３０	１ｍ３５	１ｍ３８	１ｍ４１	以降３㎝

①　走高跳・棒高跳は、最後の１人になり優勝が決まるまでは、上表の上げ幅を変えてはならない。
②　第１位と東海中学総体出場者を決定するためのバーの上げ下げは、走高跳で２㎝、棒高跳で５㎝きざみとする。
③　練習の高さを２段階に設定し、希望により実施できるものとする。

９　競技用器具について

（１）競技に使用する用器具は、すべて主催者側が用意したものを使用する。ただし、棒高跳用ポールに限り個人所有のものを使用することができる。
（２）フィールド競技の助走に使用するマークは主催者が用意する。２個まで使用できる。また、サークルから行う投てき競技は、マーカーを１個だけ使用できる。走高跳はテープを持参して使用する。
（３）リレーのマークは主催者で用意する。ただし、競技規則に適合するものであれば、各学校で用意したマークを使用できる。

10　表彰について

（１）各種目の表彰は、競技終了後に行う。８位までの入賞者は競技役員の指示に従い、表彰まで待機すること。ただし、リレー種目との重なりがある場合は、代理人による表彰を認めるので、表彰係まで申し出ること。
（２）各種目（OP 四種競技含む）の第１位に賞状・優勝バッチ、第２位から第８位までに賞状を授与する。
（３）総合の部優勝校に賞状・優勝旗・盾を授与する。準優勝校に賞状・盾を授与する。第３位～第６位の学校に賞状を授与する。
（４）上記（２）については、各競技終了後の種目表彰の中で、（３）については閉会式の中で行う。

11　商標について（詳細は「競技会における広告及び展示物に関する規定」による）

（１）競技場内に商標名の付いた衣類・バッグ等を持ち込む場合、以下の規定を守ること。
①上半身の衣類・・・製造会社のロゴ:大きさは四角形の面積 30 ｃ㎡以内、文字は縦４㎝以内、ロゴ全体で縦５㎝以内とする。製造会社の表示は１ヶ所のみとする。ただし、トレーニングウエア上衣、Ｔシャツ、トレーナー、レインジャケットの製造会社名／ロゴ面積は 40 ｃ㎡以内とする。
②下半身の衣類・・・製造会社のロゴ:大きさは四角形の面積 20 ｃ㎡以内の長方形、文字は縦４㎝以内のものを１ヶ所とする。
③バッグ　　・・・製造会社のロゴは、２ヶ所に取り付けることができる。それぞれの面積は 25 ｃ㎡以内のものとする。
（２）競技役員に指摘された場合はその指示に従う。

12 競技用シューズの規定について

（1）スパイクピンの長さは9 mm 以内。ただし、走高跳は 12mm 以内とし、スパイクピンの先端近くで少なくとも長さの半分は、4 mm 四方以内でなければならない。スパイクピンの数は 11 本以内とする。

（2）使用するシューズについては、競技規則 TR5.2/TR5.3/TR5.4/TR5.5/TR5.6 を適用する。ただしフィールド競技用として小売りされているシューズについては競技規則 TR5.5 の適用を除外する。

（3）規定外シューズ使用者の扱いについては「失格扱い」とする。
競技前に確認した場合は、そのシューズの使用を認めない。招集後に規定外のシューズの使用が確認された競技者は、失格の扱いとする。

13　開始式・閉会式について

（1）開始式：８：３０より実施。ただし、全選手の集合・整列はありません。

（2）閉会式：全競技終了後に実施する。総合入賞の表彰のみ行います。
該当校選手は、優勝校３名、準優勝校２名、３位～６位の学校は１名、本部前に集合してください。

14　その他

（1）記録の発表について
アナウンスで発表する。また、掲示も行う。
なお、記録発表のアナウンスが行われた時刻を正式発表の時間とする。

（2）応援について
①競技の妨げになるような応援は禁止する。担当役員の指示に従うこと。
②メインスタンドでの集団応援は禁止する。
③フィールド競技進行中は、メガホンなどを使用した応援や、集団応援は禁止する。

（3）撮影について
グランドレベルでの撮影は一切認めない。保護者が撮影をする場合はスタンドからのみ許可する。
ただし、他の選手に配慮し撮影すること。

（4）応援横幕・のぼり旗などの設置は禁止とする。

（5）パロマ瑞穂北競技場のテント及びシートの設置については、指定された区域のみとする。（シート固定のテープは養生テープのみとする。）※別紙参照
また、競技場内のテント・シート設置は禁止する。
選手待機場所として、パロマ瑞穂アリーナを使用することができる。指定された場所を厳守すること。

（6）リレーのマーカーは、安全のため立体物は使用しないこと。

（7）ゴミは各自必ず持ち帰ること。

15　入場規制について

（1）本大会は、観戦に対する入場規制を行いません。
ただし、選手及び監督、保護者の入場に関しては以下の通りとします。

【選手の入場】
①　入場する際に、アスリートビブスを提示してください。
②　競技場の入場時間の制限はありません。
③　スタンドへ上がる場合は、競技場外から入場すること。

【監督・保護者の入場】
①　外階段よりスタンドへ入場すること。
②　競技場内への立ち入りは禁止する。
③　収容スペースの関係上、入場できない場合がある。

【カメラマン】※事前に申請があった業者のみ
①　正面入口より入場する。
②　ビブス着用のもと撮影を許可する。
③　入場希望者は、事前に担当者へ連絡すること。（港南中学校：052-381-9337　今枝　厚樹まで）

※全国大会の標準記録を突破した選手の学校の顧問は、全国大会受付室（北陸上競技場西側スタジオ）で担当より必要書類を受け取ってください。

該当する学校の顧問の先生、学校関係者の代表者の少なくとも１名は、7 月 23 日（日）の県総体終了後（延期された場合は 24 日）に、パロマ瑞穂アリーナの第１競技場において監督会議を行うので、必ず出席してください。

全国大会の申し込み関係、宿泊、当日までの流れについての説明を行います。事前に配付した資料をお持ちください。